

2020年3月期 第2四半期 決算資料



 平安レイサーサービス株式会社

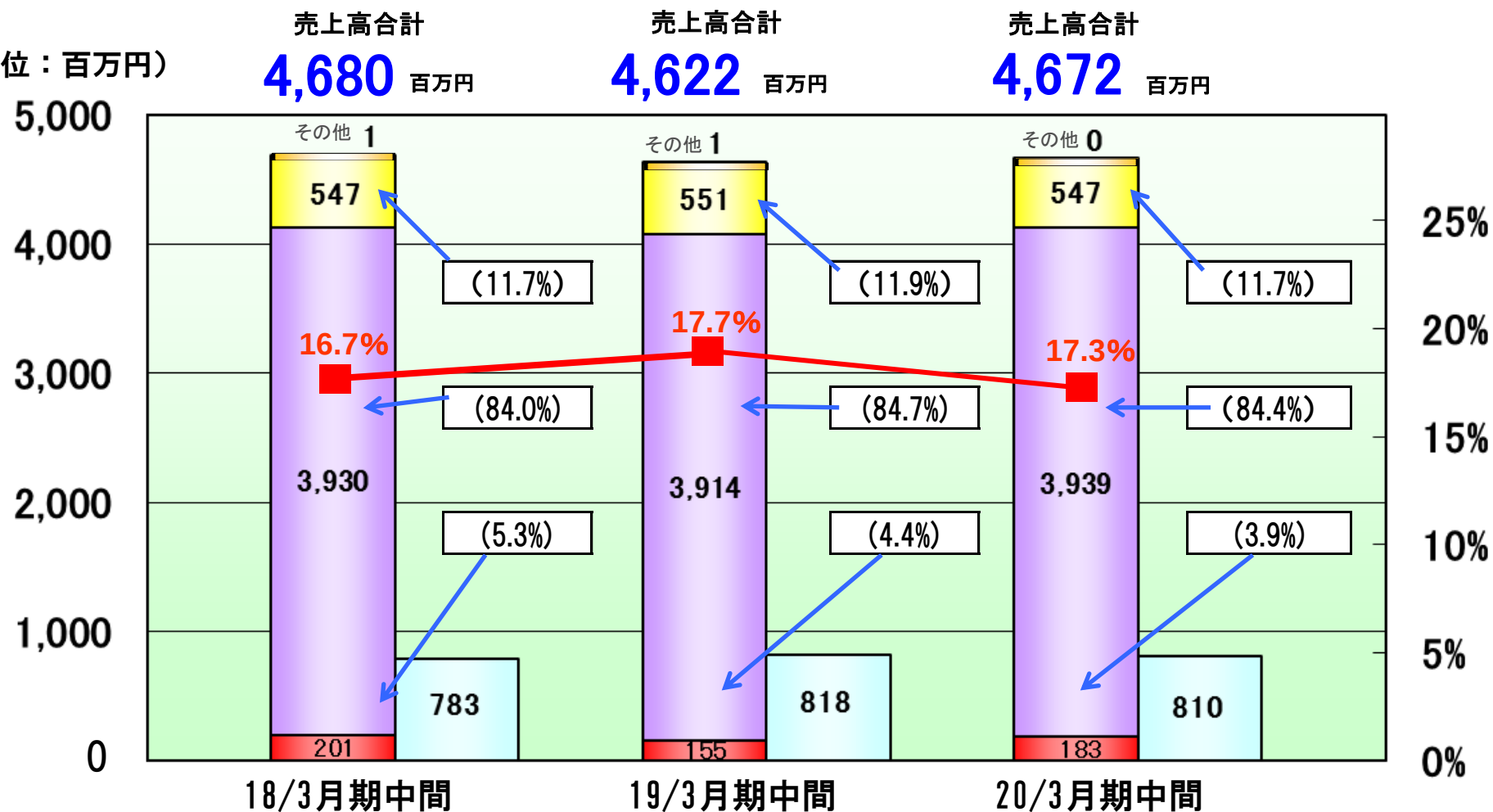
決算概要



2020年3月期 第2四半期(累計) 経営成績(連結)

決算概要

(単位：百万円)



冠婚売上

葬祭売上

介護売上

その他の売上
(互助会事業含む)

経常利益

売上高経常利益率

※()内は売上構成比



2020年3月期 第2四半期実績(連結)

決算概要

(単位：百万円)

	前年同期		当期累計		増減率	売上高利益率	
	18/4月～18/9月（内7～9月）		19/4月～19/9月（内7～9月）			当期	（増減）
連 結 売 上 高	4,622	(2,335)	4,672	(2,345)	+1.1%		
連 結 営 業 利 益	754	(361)	738	(364)	Δ2.2%	15.8%	Δ0.5P
連 結 経 常 利 益	818	(395)	810	(402)	Δ0.9%	17.3%	Δ0.4P
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	531	(247)	526	(252)	Δ0.9%	11.3%	Δ0.2P

* 増減率は円単位にて算出

{当連結累計期間の状況}

(冠婚事業) 婚礼施行組数及び婚礼一組単価が前年同期に比べ増加いたしました。

その結果、売上高は183百万円(前年同期比18.2%増加)、営業利益は16百万円(前年同期は営業損失1百万円)となりました。

(葬祭事業) 当社主要エリアの死亡人口増減率は増加し、シェア率は微増となり、葬儀件数は増加となりました。

また葬祭一件単価は会葬者数減少等の影響により減少し、売上高は3,939百万円(前年同期比0.7%増加)、営業利益は1,068百万円(前年同期比1.4%減少)となりました。



貸借対照表分析(連結)

(単位：百万円)

	前期末	20/3月期 第2四半期	増減		前期末	20/3月期 第2四半期	増減
(資産の部)			百万円	(負債の部)			百万円
流動資産				流動負債			
現金及び預金	10,891	10,536	△354	買掛金	215	173	△42
売掛金	247	231	△15	未払法人税等	513	286	△226
商品及び製品	41	41	△0	未払消費税等	63	58	△4
原材料及び貯蔵品	99	97	△2	掛金解約手数料戻し 損失引当金	3	3	△0
その他	108	184	75	その他	768	620	△147
貸倒引当金	△2	△2	△0				
流動資産合計	11,386	11,089	△297	流動負債合計	1,564	1,142	△422
固定資産				固定負債			
有形固定資産				繰延税金負債	26	23	△2
建物及び構築物	4,350	4,315	△35	退職給付に係る負債	147	154	7
機械装置及び運搬具	98	84	△13	役員退職慰労引当金	83	83	-
器具及び備品	143	148	4	資産除去債務	128	132	3
土地	8,313	8,542	229	前払式特定取引前受金	12,992	12,862	△129
建設仮勘定	91	53	△37	その他	170	173	2
有形固定資産合計	12,996	13,143	146	固定負債合計	13,549	13,430	△119
無形固定資産	33	32	△1	負債合計	15,114	14,572	△541
投資その他の資産				(純資産の部)			
投資有価証券	153	144	△8	資本金	785	785	-
長期貸付金	30	30	-	資本剰余金	2,838	2,838	-
繰延税金資産	320	315	△5	利益剰余金	15,644	16,013	369
供託金	6,854	6,854	-	自己株式	△670	△670	-
敷金及び保証金				その他有価証券評価 差額金	2	△0	△2
その他	1,938	1,929	△8				
投資その他の資産合計	9,297	9,274	△22				
固定資産合計	22,328	22,450	122	純資産合計	17,587	18,967	366
資産合計	33,714	33,539	△174	負債・純資産合計	32,818	33,539	△174

(資産の部)

「流動資産」
納税 及び 有形固定資産の取得による
現金及び預金 の減少

「有形固定資産」
土地取得による増加、減価償却等による減少

(負債の部)

「流動負債」
法人税等の納付による未払い法人税等の減少

「固定負債」
前払式特定取引前受金
冠婚葬祭施行による互助会の使用
及び解約による減少

注)互助会事業では割賦販売法第18条の3に基づき、前受金の1/2以上を保全措置として供託しております。

●前払式特定取引前受金に対する保全

有価証券	供託金	土地・建物	その他(敷金・保証金)	合計
—	6,854百万円	696百万円	1,056百万円	8,607百万円

上記資産については、割賦販売法第18条の3に基づき、前払取引前受金12,862百万円に対する保全措置として提供しております。



損益計算書分析(単体)

決算概要

【売上高】

(冠婚事業)

婚礼組数は前期比 12組(+23.0%)増加、
婚礼一組単価は増加となりました。
その結果、売上高は増加いたしました。

(葬祭事業)

施行件数が前期比 216件(+7.8%)増加、
葬祭一件単価は減少となりました。
その結果、売上高は増加いたしました。

【売上原価率】

(冠婚事業)92.5%(前期比 △9.9ポイント)

原材料費率 27.8%(前期比 △0.9ポイント)

労務費率 24.7%(前期比 △3.7ポイント)

経費原価率 40.0%(前期比 △9.9ポイント)

(葬祭事業) 69.8%(前期比 +0.1ポイント)

原材料費率 25.4%(前期比 △1.4ポイント)

労務費率 22.5%(前期比 △0.2ポイント)

経費原価率 22.0%(前期比 +1.8ポイント)

業務委託料 +28百万円
水道光熱費 + 2百万円
地代家賃 + 5百万円
減価償却費(※) +31百万円

(※)葬祭既存施設の建替え計画に基づき
追加償却費16百万円を計上。

	前年同期 第2四半期累計		当期累計 第2四半期累計		増 減 (△印減)	増減率
売 上 高	4,047	100.0%	4,101	100.0%	+54	1.3%
材料商品原価	1,086	26.8%	1,044	25.5%	△41	△3.9%
労務費	925	22.9%	924	22.6%	△0	△0.1%
その他経費	858	21.2%	935	22.8%	+77	9.0%
売 上 原 価	2,870	70.9%	2,905	70.8%	+34	1.2%
売 上 総 利 益	1,176	29.1%	1,196	29.2%	+19	1.7%
販売費及び一般管理費	514	12.7%	549	13.4%	+34	6.8%
営 業 利 益	662	16.4%	647	15.8%	△15	△2.3%
営 業 外 収 益	200	5.0%	211	5.2%	+10	5.4%
営 業 外 費 用	32	0.8%	31	0.8%	△1	△4.5%
経 常 利 益	830	20.5%	827	20.2%	△3	△0.4%
特 別 利 益	—	—	—	—	—	—
特 別 損 失	—	—	—	—	—	—
税金等調整前 四半期純利益	830	20.5%	827	20.2%	△3	△0.4%
法人税住民税及事業税	237	5.9%	245	6.0%	+8	3.5%
法人税等調整額	15	0.4%	5	0.1%	△10	△64.5%
当 期 (四 半 期) 純 利 益	577	14.3%	576	14.1%	△1	△0.2%

※()は対売上高比率



	前年同期 (百万円)	当期累計 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	222	193
投資活動によるキャッシュ・フロー	Δ456	Δ388
財務活動によるキャッシュ・フロー	Δ156	Δ157
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増加額	Δ390	Δ352
現金及び現金同等物の増加額期首残高	10,905	10,768
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,514	10,416

【20年3月期 第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況】

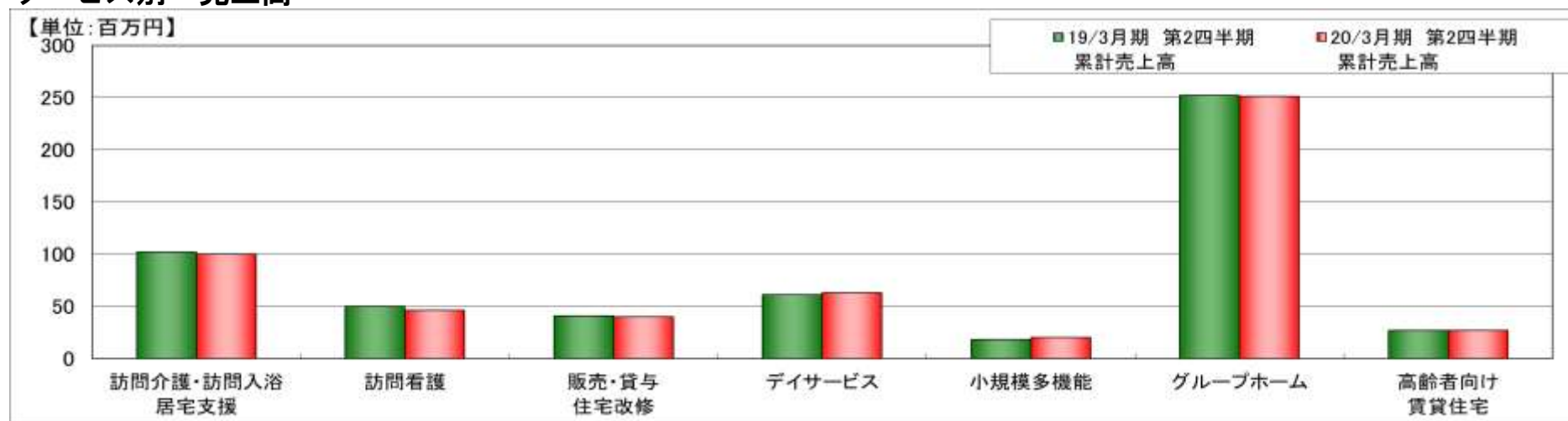
- ・営業CF :税金等調整前四半期純利益810百万円、減価償却費242百万円の計上に対し、
前払式特定取引前受金129百万円の減少、法人税等の支払500百万円等が生じた事によるものであります。
- ・投資CF :営業保証金の戻入れによる収入9百万円。
一方、有形固定資産の取得による支出398百万円が計上されたためであります。
- ・財務CF :配当金の支払157百万円によるものであります。

売上高・営業利益率

(単位：百万円)

	訪問介護・訪問入浴 居宅支援	訪問看護	販売・貸与 住宅改修	デイサービス	小規模多機能	グループホーム	高齢者向け 賃貸住宅	合計
19/3月期 第2四半期 累計売上高	102	50	41	61	18	252	27	551
19/3月期 第2四半期 累計営業利益率	△0.8%	24.3%	0.4%	△9.2%	△31.5%	11.5%	△26.2%	3.2%
20/3月期 第2四半期 累計売上高	100	46	40	63	20	251	27	547
20/3月期 第2四半期 累計営業利益率	3.7%	17.1%	6.6%	△2.2%	△28.6%	11.7%	△30.7%	3.7%

サービス別 売上高



【主要部門の状況】

訪問介護・・・スタッフ数に対し適正な業務量コントロールを行い売上は減少したが残業時間も減少、減収増益。
 訪問看護・・・看護師を採用するも稼働率減により売上減、新人教育による人件費がかさみ、減収減益。
 住宅改修・・・レンタル部門の人員が兼務し最小構成で原価を抑えた運営。利益率の高い工事が入り、増収増益。
 デイサービス・・・小田原の稼働率が上がり、全体の就業時間コントロールにより残業時間減少、増収増益。
 グループホーム・・・入居者入れ替えが前年より多く売上減、シフトコントロールにより残業時間減少、減収増益。
 支援ハウス・・・全体で空室を補うも、入居促進の見学会に伴う広告宣伝費用がかさみ増収減益。

2020年3月期計画



2020年3月期 通期業績予想

2020年3月期計画

1. 連結

(単位：百万円)

	19/3月期(実績)			20/3月期(計画)		
	上期	下期	通期	上期【実績】	下期	通期
売上高	4,622	5,445	10,067	4,672	5,706	10,379
〔前期比〕				〔1.1%〕	〔4.8%〕	〔3.1%〕
営業利益	754	1,232	1,987	738	1,138	1,876
〔前期比〕				〔△2.2%〕	〔△7.6%〕	〔△5.6%〕
経常利益	818	1,300	2,118	810	1,189	2,000
〔前期比〕				〔△0.9%〕	〔△8.9%〕	〔△5.6%〕
親会社株主に帰属 する当期純利益	531	851	1,382	526	768	1,295
〔前期比〕				〔△0.9%〕	〔△9.7%〕	〔△6.3%〕

2. 単体

(単位：百万円)

	19/3月期(実績)			20/3月期(計画)		
	上期	下期	通期	上期【実績】	下期	通期
売上高	4,047	4,879	8,926	4,101	5,133	9,235
〔前期比〕				〔1.3%〕	〔5.2%〕	〔3.5%〕
営業利益	662	1,073	1,736	647	994	1,641
〔前期比〕				〔△2.3%〕	〔△7.4%〕	〔△5.5%〕
経常利益	830	1,139	1,970	827	1,055	1,883
〔前期比〕				〔△0.4%〕	〔△7.4%〕	〔△4.4%〕
当期純利益	577	744	1,322	576	679	1,255
〔前期比〕				〔△0.2%〕	〔△8.8%〕	〔△5.0%〕

(注) [] 内は前期比です。

連結計画達成のための重点施策

① 新商品・新サービスの促進

- ・オリジナル商品の企画と 外部販売及びノウハウの提供による外部収入の確保
(主に生花、料理メニュー、音響・映像分野、リネンによるコーディネートなどセレモニー商品 他)

② 葬儀周辺売上強化

- ・法事、仏壇仏具販売、墓地墓石斡旋、相続に関連する各種紹介斡旋事業等の付帯サービスの売上による葬儀一件単価減の補完

③ 既存営業エリアの地盤強化と

新規営業エリアの拡大

- ・築年数の古い既存大型葬祭施設をはじめとした各種施設の改修及び建替え、新規出店による営業エリアの拡大

④ 生産性と労務効率の向上

- ・全社横断の物流システム構築による配送ロスの低減、機械化・自動化の推進によるコスト改善と少人数化、働く環境整備と人材の適正確保、冠婚葬祭介護の各事業を超えたマルチジョブスタッフの育成

⑤ 管理統制システムの強化

- ・新規電算システムの活用、データのセキュリティ強化による情報漏えいリスクの予防



投資実績及び当期計画(減価償却、設備投資、新マーケットの開拓)

2020年3月期計画

居抜改装投資モデル(賃貸契約タイプ)

(単位:百万円)

(100坪想定モデル)	1年目	2年目	3年目
想定施行件数(件)	31	57	62
想定売上高	30	50	54
減価償却費	10	8	6
経常利益	-29	-3	2

新築投資モデル(定期借地契約タイプ)

(単位:百万円)

(100坪想定モデル)	1年目	2年目	3年目
想定施行件数(件)	31	42	60
想定売上高	29	41	55
減価償却費	14	12	10
経常利益	-35	-13	1

※上記はあくまでモデルであり、実際の店舗は個別性がございます。

営業施策

- ・サテライト運営によるコスト削減
- ・価値意識の変化に対応した感動商品、サービスの提供

- ・各種広告媒体活用に加え地域に密着した個別訪問活動による広告宣伝
- ・出店コスト削減による回収期間の短縮

	18年3月期実績	19年3月期実績	20年3月期計画
設備投資(連結)	435	1,285	1,629
減価償却(連結)	462	442	593
設備投資店舗件数(連結)(件)	3	3	5

(単位:百万円)

19年3月期実績

- ・湘和会館岩原 (18年9月開業)
- ・湘和会館秋葉台 (18年11月開業)
- ・湘和会館桜ヶ丘 (19年3月開業)

20年3月期計画

- ・湘和会館鶴巻 (19年5月開業)
- ・湘和会館入谷 (19年12月開業)
- ・湘和会館追分 (来春予定)
- ・湘和会館木曽 (来春予定)
- ・湘和会堂本鵠沼(仮) (来春予定)

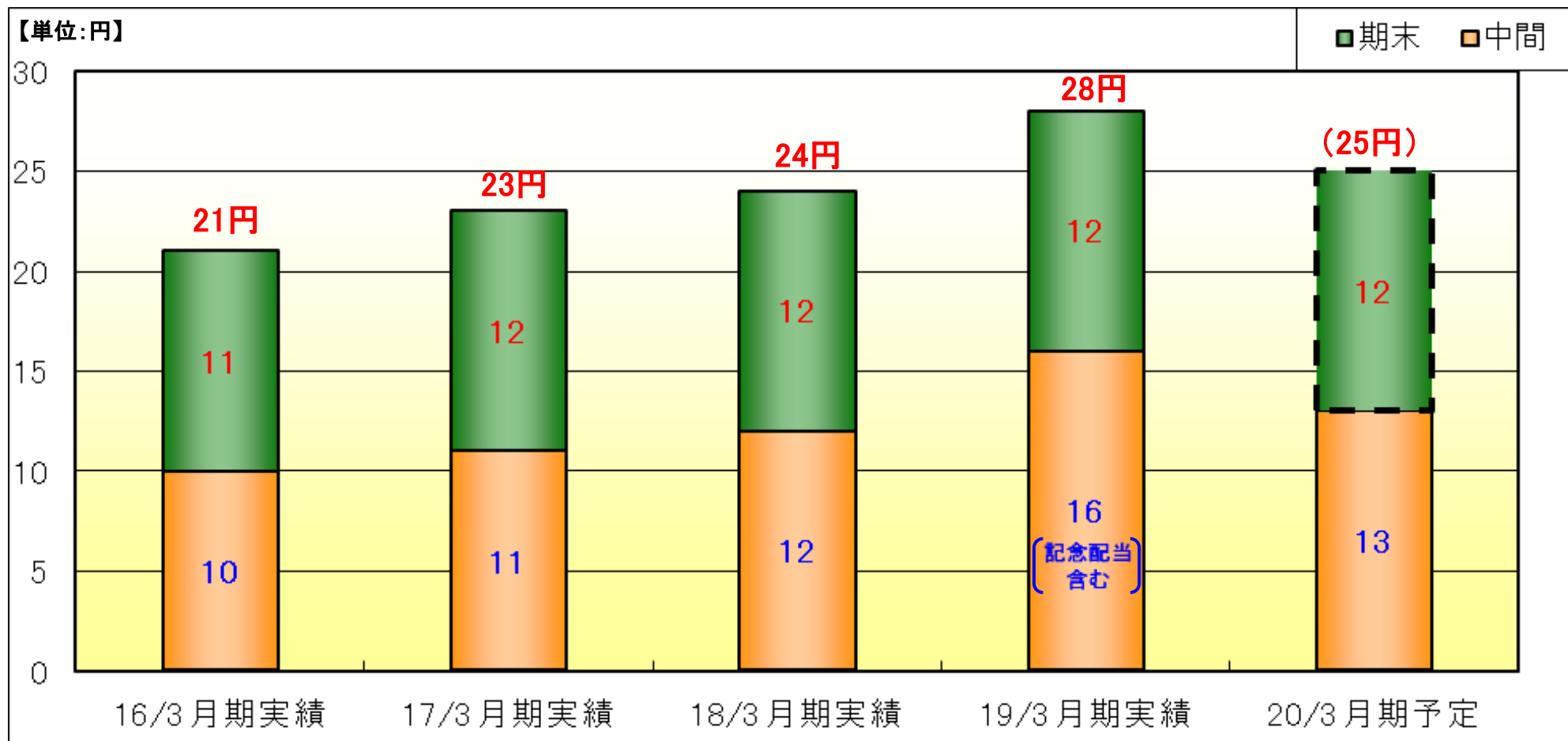
※その他 築年数の古い既存大型葬祭施設をはじめ各種施設の
改装・建替えを実施予定

※設備投資、減価償却は総額を表示してあります



配当予想について

2020年3月期計画



【今後の配当政策についての考え方】
30%の配当性向を目指しております

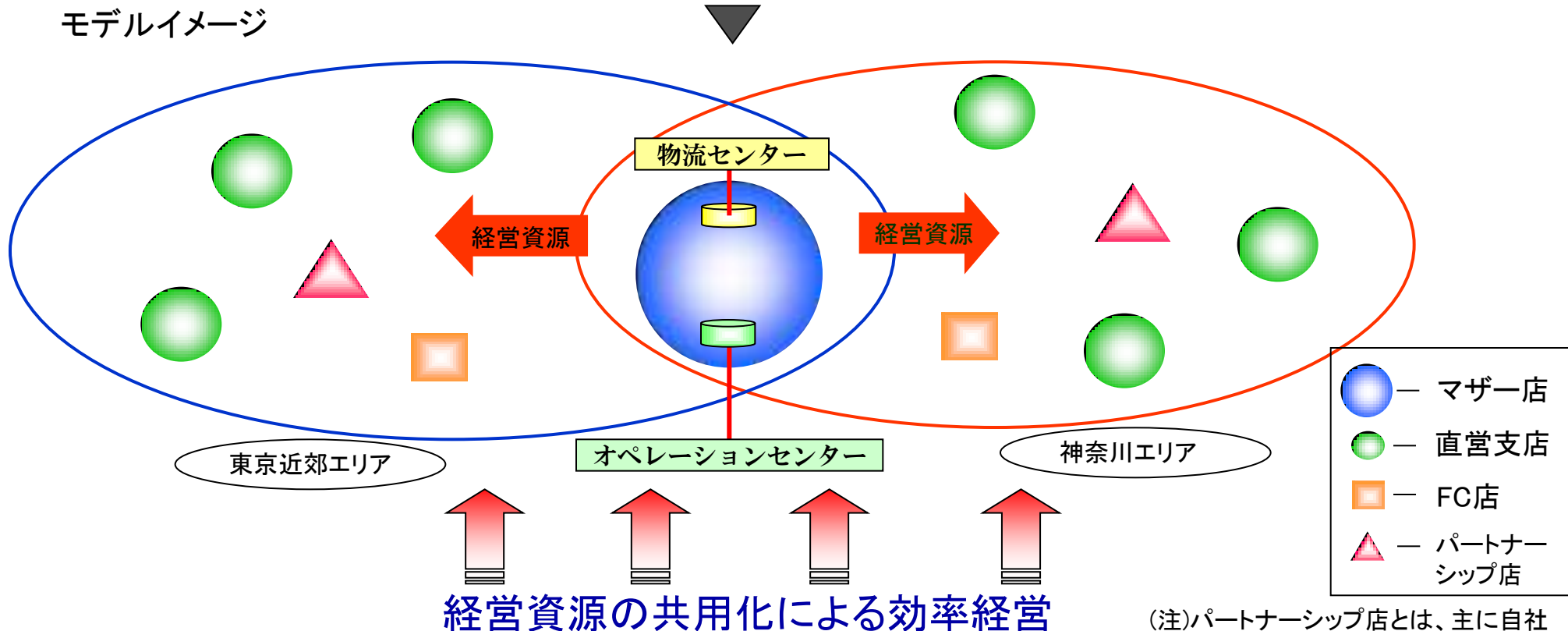
今後の戦略



地域ドミナントによるユニット展開(展望)

東京近郊含む首都圏でのユニット展開

モデルイメージ



(注)パートナーシップ店とは、主に自社葬祭施設を所有せず、当社施設使用契約を結んでいる中規模葬儀社

地域ドミナントによる3つの効率化

ターゲットエリアの商圈特性に合わせた**出店の効率化**

人的・物的な相互補完による**人件費・教育研修費の効率化**

効率的な配送ルート設定による**物流の効率化**



平安レイサービス 葬祭ビジネス 中長期展望

当社の方向性

市場ニーズ

小規模・邸宅型のローコスト
オペレーションシステムの構築

大型施設閉鎖も視野に入れ
邸宅型タイプへのシフト推進

大規模対応から個別ニーズ対応型ヘシフト

- * 少子高齢化に合わせた既存施設のマルチフロア化
- * 自宅のように寄り添える個室の専用安置室（貴殯室）
- * 式場・控室一体の自宅リビングのような空間作り

ハード面（建物）

湘和会堂

カルチャーBONDS

湘和会館
湘和礼殯館



湘和礼殯館 真土



きひんしつ
貴殯室の一例
カルチャーBONDS藤沢

ソフト面（人材）

専門職資格制度
による人材育成

カウンセリングと
プレゼンテーション

業界に不足していた
悲嘆のプロセスを理解する教育

想いを引出し、多様化する顧客ニーズへ対応する為、
※CSTの全社普及

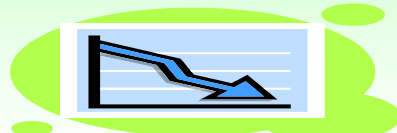
カウンセリングしたものを形にする
コンサルティングの領域へ

業界主導型葬儀

参加型・感動型葬儀

次世代型葬儀

義理だけの会葬者減



葬儀の小規模化傾向

縁のある間柄の集まり

葬儀の多様化（オリジナリティ）
生前相談数増加傾向



形式にはまらない、故人
遺族の想いが主張される

葬儀離れ
旧態然の葬儀社が破綻

※CST: カウンセリング・セールストークから
バージョンアップし、コンサルティングセールストークへ

業界のフラッグシップとなり
信頼に応える価値ある企業へ

当社直営化・内製化の現状と今後の取組み

今後の戦略

前期までの内製化取組み事項

「原材料主要項目」

- ・料理、返礼品
- ・生花供物製造、婚礼生花業務100%直営化
- ・飲物の一部内製化(ウーロン茶等)
- ・衣裳 ・遺影、印刷 ・ランドリー



「経費主要項目」

- ・霊柩業務の直営化 ・夜間業務補助
- ・遮熱塗装、遮熱フィルム工事の内製化
- ・電気使用デマンド管理等
- ・自家発電設備の常用化
- ・保守メンテナンスの内製化拡大
- ・各施設フロアクリーニング完全内製実施
- ・家具、備品内製製作(リサイクル含)
- ・修繕一部内製化
- ・電算システム内製(ソフトウェア等)(最新システムへの移行完了)
- ・パソコン受注システム内製製作
- ・遺影写真確認システムの内製製作
- ・アフターサービス(法事・法要)受注システムの内製製作
- ・文書管理電子システムの構築(ペーパーレス化)
(書類管理をしていたスペースの有効活用)



「広告企画・人材育成主要項目」

- ・施設コーディネート(設計企画) 広告宣伝物
- ・従業員教育研修の社内実施
- ・建物設計の一部内製化(社内一級建築士による建築設計)

今期以降の新規取組み事項

・マイファーム(野菜栽培)

自家製椎茸の原木栽培。早期収穫可能な栽培方法導入

19年9月現在原木本数 3,300本 栽培場所を拡充
他、提携農家拡大



・厨房調理業務の機械化推進

・太陽光発電設備の導入(施設拡大)

・内製アイテム数の拡大

家具、備品、演出機器等

装飾建材や施設看板作成の内製化

儀式用品の修繕内製化

(白木祭壇の修繕や仏具備品の作成)

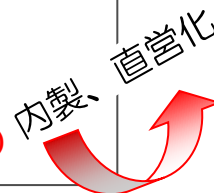
・最新システム導入、メンテナンス

・マルチジョブスタッフの教育研修実施

婚礼部門での新規対応や葬祭部門での生前相談対応研修など 自社の差別化商品や仕組みに連動した従業員教育研修カリキュラムの内製と社内実施

・同業他社へ 当社オリジナル商品、
ノウハウの提供 スーパーバイザーの派遣
(2018年にオリジナル商品の販売エリア拡大)

コスト改善・利益率増加





環境への取り組み

今後の戦略

地球温暖化による天候異変や東日本大震災以降のエネルギー問題に配慮し、社会貢献の一環として省エネ活動を通じて地球温暖化防止と再生可能エネルギーである太陽光の利用促進に取り組んでおります。

主な取り組み

- ・自社施設に太陽光発電設備を設置
- ・スマートメーター設置による電力使用状況の「見える化」
- ・照明のLED化推進



へいあん片瀬鵜沼
太陽光発電設備

既に設置済みの太陽光発電設備

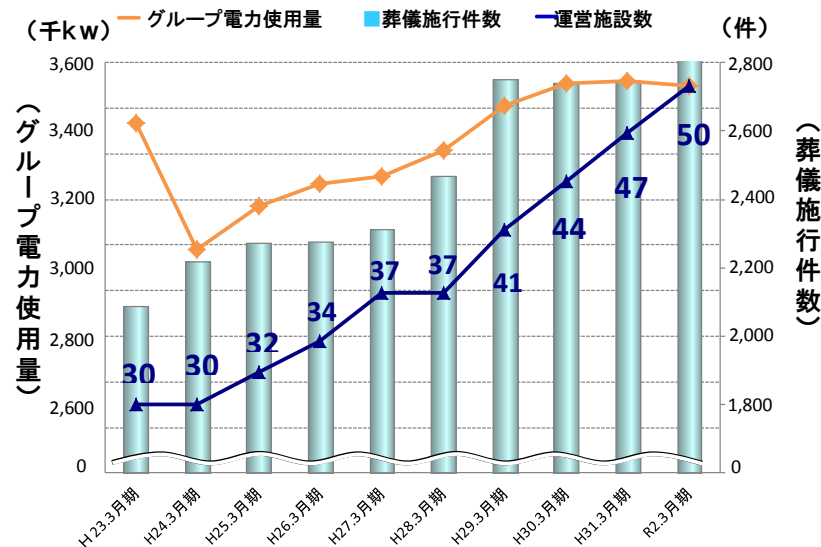
※ 売電設備

- ① 山大商事夢工房：10kw
- ② 湘和会堂西富：21kw
- ③ 湘和会堂秦野：26kw
- ④ 湘和会堂本厚木：22kw
- ⑤ 湘和会堂平塚：16kw

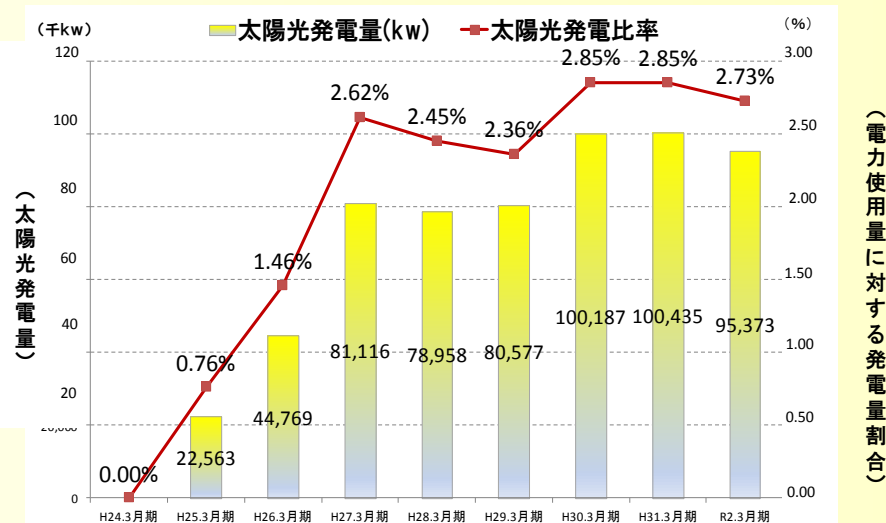
※ 自社消費設備

- ① カルチャーBONDS平塚：20kw
- ② 本社ビル：10kw
- ③ へいあん片瀬鵜沼：13kw

葬儀施行件数と電気使用量の推移（上期比較）



太陽光発電量の推移（上期比較）

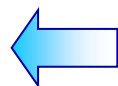


今後も、省エネ機器や蓄電設備の導入など、省エネ活動を進めてまいります

[参考資料]



小規模化に対する
設備投資の考え方



バランス



個性化に対する
運営面の考え方

◆ ハード面の効率化

- ・60～120坪 平屋建て
- ・バックヤード最小
- ・ミニキッチン併設
- ・導線に沿った客室配置
(省スペース・案内不要)

◆ 個性化に対応するハード

- ・邸宅貸切型
- ・親族室、会食室の充実
- ・館内が全てギャラリー
(遺品や写真展示)
- ・映像、照明、音響の充実

◆ ソフト面の効率化

- ・母店とサテライト店の役割
(人・物流の一元化)
- ・マルチサービス態勢
- ・演出機器、家具備品の標準化と内製化

◆ 個性化に対応するソフト

- ・CSTの進化:「カウンセリング」から
「コンサルティング」で想いを形に提案
- ・オリジナルシナリオ
- ・飲食のグレードアップ
- ・会話をしやすい雰囲気づくり
- ・会葬時に選べる返礼品



葬祭専門業社にない 空間と商品・サービスの提供

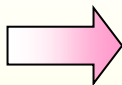
資料

～冠婚事業で培ったノウハウが葬祭事業の今日に！！～

～Wedding～

～Funeral～

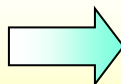
料理 ～旬の食材を大切に、温かいものは温かく、冷たいものは冷たく出来たてをすぐに提供～



サービス ～お越しくださった方一人一人に最上級のおもてなしを～



空間コーディネート ～メモリアルを五感に訴える・・・光と音の空間演出～



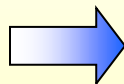


葬祭専門業社にない 空間と商品・サービスの提供 ～冠婚事業で培ったノウハウが葬祭事業の今日に！！～

資料

施設 1軒貸切をコンセプトにくつろげる空間を演出

～Wedding～



～Funeral～



広告

冠婚で培った広告の理論や、ノウハウ、広告の技、考え方を葬祭にて実践

教育 CST研修 (カウンセリングセールストーク、コンサルティングセールストーク)

冠婚で培った商談の基本、提案の基本スキルを葬祭へ取り入れる





平安レイサーサービス株式会社

問合せ先 : 管理本部 総務部 総務グループ TEL 0463 - 34 - 2771

E-mail : soumu@heian-group.co.jp

【著作権について】

当資料に掲載されているあらゆる内容の著作権は平安レイサーサービス株式会社に帰属しており、無断で転載・転用することを禁止します。

当社グループ施設

資料

【2019-20年 開業及び計画】

2019年5月開業 湘和会館鶴巻

2019年12月開業 湘和会館入谷

(来春予定)

湘和会館追分 湘和会館木曽

湘和会堂本鵠沼(仮)

(2019年5/21開業)

NEW!

湘和会館 鶴巻

(2019年12月開業)

NEW!

湘和会館 入谷

神奈川県

東京都

(来春 開業予定)

NEW!

湘和会館 木曽



冠婚2施設・葬祭37施設・介護9施設による神奈川県湘南地区を中心としたネットワーク

● 複合葬祭施設 (1フロア貸切型) カルチャーBONDS・湘和会堂タイプ ▲ 一軒貸切型葬祭施設 礼葬館・湘和会館タイプ

◆ 安置専用施設

★ 冠婚施設

■ 介護施設

◇ 会食施設

● 本社

(2019年9月末現在)